

【家庭教育支援チーム】

(1)活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	松江市家庭教育支援チーム (呼称: ほっ♡To いっぽ Lab) URL: https://www.instagram.com/hotto.ippo.lab?igsh=dWk3d2cwMDF6ZTd5
②活動拠点	松江市東忌部町 1808
③活動範囲	松江市を中心とした島根県内東部
④組織体制	<u>3 人</u> 地域学校協働活動推進員1名、地域住民1名、社会教育士1名
⑤活動開始年度	令和5年度
⑥問合せ先	(部署・氏名等) 代表 高橋 一平 (TEL)080-6319-5354 (E-mail)hotto.ippo.lab@gmail.com

(2)活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	☒ 保護者等への学びの場の提供 ☒ 保護者等への地域の居場所づくり ☒ アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) L ☐自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) ☐保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) ☒その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) ☐ その他()
②活動対象 (複数チェック可能)	☒ 乳幼児 ☒ 小学生(低学年) ☒ 小学生(中学年) ☒ 小学生(高学年) ☒ 中学生 ☒ 高校生以上 の子供を持つ保護者に対する活動を実施

③活動内容	【具体的な活動内容】 ①子育て世帯を対象とした体験・交流の場の提供 公民館を活用して、地域の漁師の方や石見神楽社中、警察音楽隊や怪談語り部等の地域講師を招き、親子で楽しめる体験・交流の場を毎月1回程度開催している。 ②障がいのある子どもたちの活躍の場づくり 島根県立松江養護学校川津校舎・乃木校舎と連携し、授業で作った作品の展示販売を通じて子どもたちの力を地域に発信し、子どもたちにとっては物販の実践の場として活躍の場づくりを行っている。 ③子育てに悩む家庭、保護者への相談対応 団体の拠点を活用して、個々の悩みや不安を丁寧に聴き、相談に応じる。相談者の現状に寄り添ったうえで、相談員の専門的見地から助言を行い、必要に応じて公的機関の紹介や情報提供などの橋渡し役を担う。 ④家庭と地域が繋がる場の提供 地域のふれあい菜園での野菜栽培を子どもたちや保護者の方と共に行い、地域の農家の方や公民館の方などと交流を持ち、他の地域活動にも参加する入口としての“繋がる場”を提供している。
④活動の成果 (活動実績がある場合)	○公民館での体験・交流会(前項①) 地域の若手漁師のグループと連携し、タッチプールを通じた命の大切さを学ぶイベントを開催。保護者と子ども合計30名が参加し、有意義な機会となった。他にもふれあい菜園で収穫した野菜を使った夏野菜カレー作りなども開催している。 ○松江市役所マルシェへの出店(前項②) 松江市役所マルシェに団体として出店し、障がいのある子どもたちが製作した作品の展示・販売を行い、より多くの方々に知ってもらう場となった。
⑤活動財源 (複数チェック可能)	☐ 文部科学省補助事業(事業名:) ☐ 文部科学省委託事業(事業名:) ☐ 厚生労働省事業(事業名:) ☐ 地方公共団体単独事業として実施 ☐ 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施) ☒ その他の支援により活動を実施 (松江市まちづくり活動応援補助金、青少年育成島根県民会議青少年育成ネットワークモデル支援事業)